

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	文化財保護事業		コード	03-03-02-01
			担当課・係	生涯学習課 文化係
事業実施期間	平成7年～		担当者	福本浩子
			電話	0869-64-1841
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目(基本施策)	歴史と文化の輝くまちづくり		
	小項目(施策)	文化財の保護と保存		

事業について	
目的 (何のために)	中世六古窯のひとつと言われながら、調査・研究が20年遅れていると言われている備前焼研究の現状の中、備前焼の歴史について未解明なことを明らかにする。また、文化財を保護し、かつ、その活用を図り、もって市民の文化向上に資することを目的とする。
対象 (誰・何を対象に)	市内外を問わず、史跡及び備前焼の歴史・文化財に興味のある人。
内容	伊部南大窯の発掘調査。出土した遺物の整理。現地説明会の開催。国指定史跡の整備を検討する史跡伊部南大窯跡整備委員会の開催。市内文化財の保護保存、周知のための説明板・注意看板等の設置。資料館との連携による備前歴史講座・フォーラムの開催。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
備前歴史フォーラム延参加者数	173 人	184 人	
遺物整理日数	240 日	240 日	
文化財保護審議会開催回数	3 回	3 回	
現地説明会参加者数	150 人	250 人	

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	14,094	間接補助金等	4,484	直接事業費	15,057	間接補助金等	6,390	直接事業費		間接補助金等	
	人件費	12,135	受益者負担		人件費	10,029	受益者負担		人件費		受益者負担	
	市債		市債		市債		市債		市債		市債	
合計	26,229	一般財源等	21,745	合計	25,086	一般財源等	18,696	合計	0	一般財源等	0	

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

必要人員	1.75 人	1.54 人	
結果指標	結果指標名	備前歴史フォーラム参加平均人数	備前歴史フォーラム参加平均人数
結果指標	結果指標量	87	92
結果指標	単位	人	人
結果指標	対前年比	-	105.75%
結果指標	活動にかかるコスト	685,820 円	399,000 円
結果指標	単位当たりコスト	7,883 円	4,337 円
結果指標	結果指標名	現地説明会参加者数	現地説明会参加者数
結果指標	結果指標量	150	250
結果指標	単位	人	人
結果指標	対前年比	-	166.67%
結果指標	活動にかかるコスト		
結果指標	単位当たりコスト		

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	備前市の文化財について市内外を問わず多くの人に情報を提供することで、郷土の文化財の保護や活用について理解と興味を持ってもらい、後世にまで貴重な文化財を守っていく認識を深める。		
成果指標名	備前歴史フォーラム参加平均人数	式又は説明	備前歴史フォーラム延参加者数/開催日数
成果指標量	17年度 87	18年度 92	
対前年比	-	105.75%	0.00%
到達目標値	120	到達目標年度	平成21年度

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 文化財保護法	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	備前市には閑谷学校をはじめ数多くの文化財が存在しており、これらの文化財を調査し、保存・保護していくことは、非常に重要であるが、その重要性を理解してもらうことはなかなか難しい。今後も引き続き郷土の歴史・文化について多くの人に興味を持ってもらい、文化財の保護・保存等に関して理解を深めてもらうことが重要である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	文化財の調査や保存、整備にはコストがどうしてもかかってしまうが、作業の改善点等を検討し、効率の向上に努めていかなければならない。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	備前市内にある文化財について、興味・関心を持ってもらうために情報発信をしていくことが必要。より多くの人に情報を発信できるように、ホームページを充実させる等の改善を行っている。毎年開催しているフォーラム等は参加者が増加傾向にあり、今後も学習の場を提供していく。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 備前歴史フォーラムは、平成19年度生涯学習フェスティバルの関連事業の一つとして例年より時期をずらし、日にちも2日間から1日へ変更して行う。
目標値	結果指標量 100	結果指標量	
	成果指標量 100		

総合評価	市内文化財の保護・保存等について理解を深めてもらうため開催した備前歴史フォーラムや現地説明会では参加人数も増加傾向にあり、市民の関心も高まっている。しかし、さらに多くの人に情報を発信していく必要があるため、ホームページや広報びぜん等を活用していく。	評価区分<A~E> B
------	--	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	事業の事務改善に努める	平成22年度	事業を効率化していくことで人件費の削減が図れる。